

1. 人 口

C0101-1 人口総数及び増加数

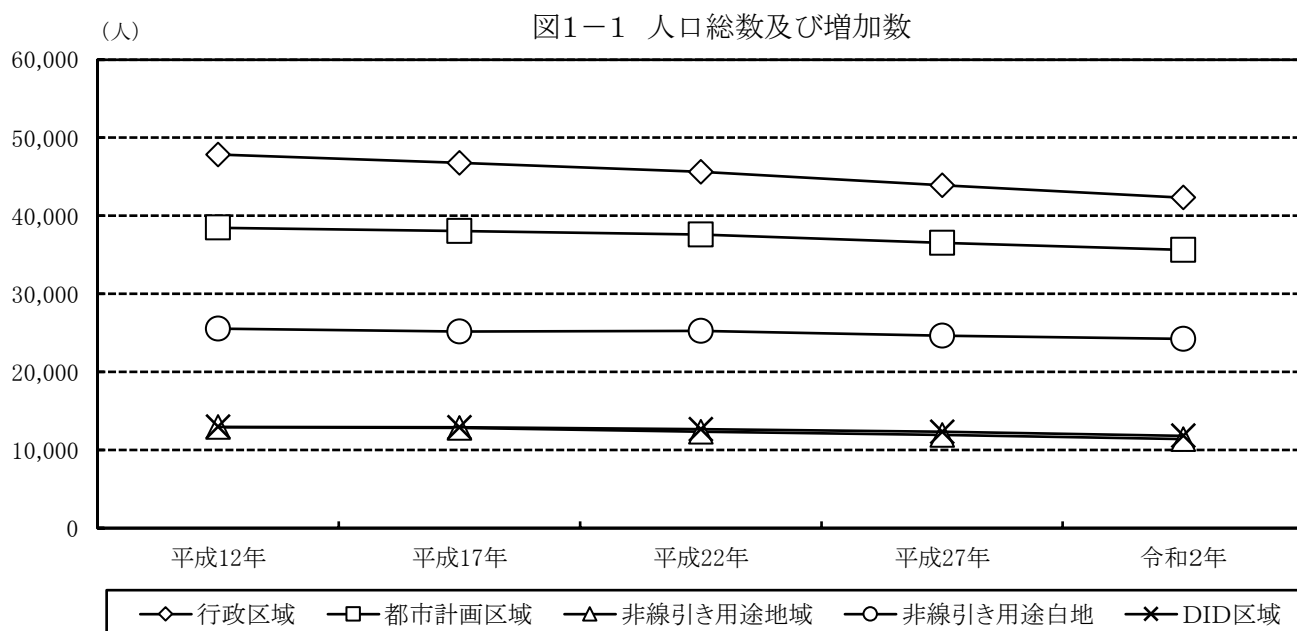
令和2年国勢調査による本市の総人口は42,338人で、平成27年の43,909人から1,571人減少(△3.6%)している。

令和2における区域別の人口構成をみると、都市計画区域の人口は35,626人(行政区域人口の84.1%)で、非線引き用途地域の人口は11,397人(都市計画区域の32.0%)、非線引き用途白地の人口は24,229人(都市計画区域の68.0%)である。

平成27年から令和2年の人口の推移を区域別に見ると、各区域で減少しており都市計画区域で△2.5%、非線引き用途地域で△4.3%、非線引き用途白地で△1.6%の増減率となっている。

表1-1 人口総数及び増加数 (平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 男女別人口及び世帯数—基本単位区をもとに作成)

区 域	平成 12年 人 口	12年～17年 の 増 減		平成 17年 人 口	17年～22年 の 増 減		平成 22年 人 口	22年～27年 の 増 減		平成 27年 人 口	27年～2年 の 増 減		令 和 2年 人 口
	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人
行 政 区 域	47,845	△ 1,057	△ 2.2	46,788	△ 1,150	△ 2.5	45,638	△ 1,729	△ 3.8	43,909	△ 1,571	△ 3.6	42,338
都 市 計 画 区 域	38,480	△ 460	△ 1.2	38,020	△ 419	△ 1.1	37,601	△ 1,074	△ 2.9	36,527	△ 901	△ 2.5	35,626
非 線 引 き 用 途 地 域 I	12,857	△ 147	△ 1.1	12,710	△ 475	△ 3.7	12,235	△ 406	△ 3.3	11,829	△ 509	△ 4.3	11,320
うちDID区域	11,268	△ 65	△ 0.6	11,203	△ 283	△ 2.5	10,920	△ 372	△ 3.4	10,548	△ 504	△ 4.8	10,044
非 線 引 き 用 途 地 域 II	77	56	72.7	133	△ 28	△ 21.1	105	△ 22	△ 21.0	83	△ 6	△ 7.2	77
非線引き用途地域	12,934	△ 91	△ 0.7	12,843	△ 503	△ 3.9	12,340	△ 428	△ 3.5	11,912	△ 515	△ 4.3	11,397
うちDID区域	11,268	△ 65	△ 0.6	11,203	△ 283	△ 2.5	10,920	△ 372	△ 3.4	10,548	△ 504	△ 4.8	10,044
非線引き用途白地	25,546	△ 369	△ 1.4	25,177	84	0.3	25,261	△ 646	△ 2.6	24,615	△ 386	△ 1.6	24,229
うちDID区域	1,717	△ 5	△ 0.3	1,712	51	3.0	1,763	32	1.8	1,795	△ 10	△ 0.6	1,785
居 住 誘 導 区 域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,234
都市機能誘導区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,313



C0101-2 年齢・性別人口・ピラミッド

令和2年の年齢別人口は、年少人口(0～14歳)は5,086人(総人口の12.0%)、生産年齢人口(15～64歳)は23,236人(総人口の54.9%)、老年人口(65歳以上)は13,670人(総人口の32.3%)である。

年少人口は平成12年からの20年間で2,682人、生産年齢人口は6,740人減少している。それに対し老年人口の伸びは顕著で、20年間で3,569人増加している。

令和2年の年齢別人口の構成比は年少人口が12.0%、生産年齢人口が54.9%、老年人口が32.3%となっており、老年人口比は市平均(30.9%)、県平均(32.0%)と比べると高い割合となっている。

年齢構成指数では、平成12年から令和2年までの20年間で年少人口指数は4.0%の減少、老年人口指数は25.1%の増加となっている。老年化指数については平成12年の130.0%に対し、令和2年には138.8%増加の268.8%と高い値を示している。

表1-2 年齢階層別人口・構成比 (平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級(5歳階級)別人口をもとに作成)

階 層	平 成 12 年			平 成 17 年			平 成 22 年			平 成 27 年			令 和 2 年		
	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
0～4	2,385	1,233	1,152	2,101	1,064	1,037	1,902	998	904	1,725	872	853	1,457	760	697
5～9	2,535	1,306	1,229	2,412	1,226	1,186	2,149	1,084	1,065	1,909	992	917	1,737	893	844
10～14	2,848	1,477	1,371	2,518	1,286	1,232	2,399	1,228	1,171	2,136	1,085	1,051	1,892	989	903
年少人口	7,768	4,016	3,752	7,031	3,576	3,455	6,450	3,310	3,140	5,770	2,949	2,821	5,086	2,642	2,444
15～19	2,646	1,351	1,295	2,380	1,228	1,152	2,134	1,080	1,054	2,034	1,043	991	1,814	923	891
20～24	2,326	1,073	1,253	1,887	916	971	1,694	780	914	1,545	729	816	1,453	705	748
25～29	3,230	1,598	1,632	2,719	1,346	1,373	2,223	1,106	1,117	1,907	955	952	1,672	855	817
30～34	2,914	1,448	1,466	3,061	1,547	1,514	2,727	1,357	1,370	2,275	1,165	1,110	1,844	923	921
35～39	2,924	1,466	1,458	2,915	1,448	1,467	3,071	1,552	1,519	2,692	1,357	1,335	2,300	1,177	1,123
40～44	3,023	1,505	1,518	2,863	1,430	1,433	2,846	1,415	1,431	2,990	1,518	1,472	2,721	1,336	1,385
45～49	3,391	1,728	1,663	2,971	1,470	1,501	2,814	1,418	1,396	2,790	1,391	1,399	2,973	1,505	1,468
50～54	3,780	1,940	1,840	3,351	1,684	1,667	2,924	1,440	1,484	2,782	1,393	1,389	2,785	1,386	1,399
55～59	2,934	1,442	1,492	3,708	1,878	1,830	3,290	1,667	1,623	2,914	1,427	1,487	2,781	1,381	1,400
60～64	2,808	1,355	1,453	2,888	1,407	1,481	3,658	1,860	1,798	3,226	1,620	1,606	2,893	1,418	1,475
生産年齢人口	29,976	14,906	15,070	28,743	14,354	14,389	27,381	13,675	13,706	25,155	12,598	12,557	23,236	11,609	11,627
65～69	2,895	1,349	1,546	2,716	1,296	1,420	2,805	1,336	1,469	3,530	1,775	1,755	3,189	1,590	1,599
70～74	2,709	1,257	1,452	2,744	1,258	1,486	2,551	1,206	1,345	2,624	1,215	1,409	3,402	1,681	1,721
75～79	2,048	817	1,231	2,428	1,069	1,359	2,462	1,100	1,362	2,350	1,049	1,301	2,429	1,093	1,336
80～84	1,338	499	839	1,682	624	1,058	1,994	821	1,173	2,071	859	1,212	2,005	848	1,157
85～89	763	249	514	941	297	644	1,232	401	831	1,490	543	947	1,527	579	948
90～	348	77	271	503	122	381	656	159	497	845	211	634	1,118	313	805
老年人口	10,101	4,248	5,853	11,014	4,666	6,348	11,700	5,023	6,677	12,910	5,652	7,258	13,670	6,104	7,566
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	107	69	38	74	44	30	346	197	149
総 計	47,845	23,170	24,675	46,788	22,596	24,192	45,638	22,077	23,561	43,909	21,243	22,666	42,338	20,552	21,786

図1-2 年齢・性別人口(行政区)

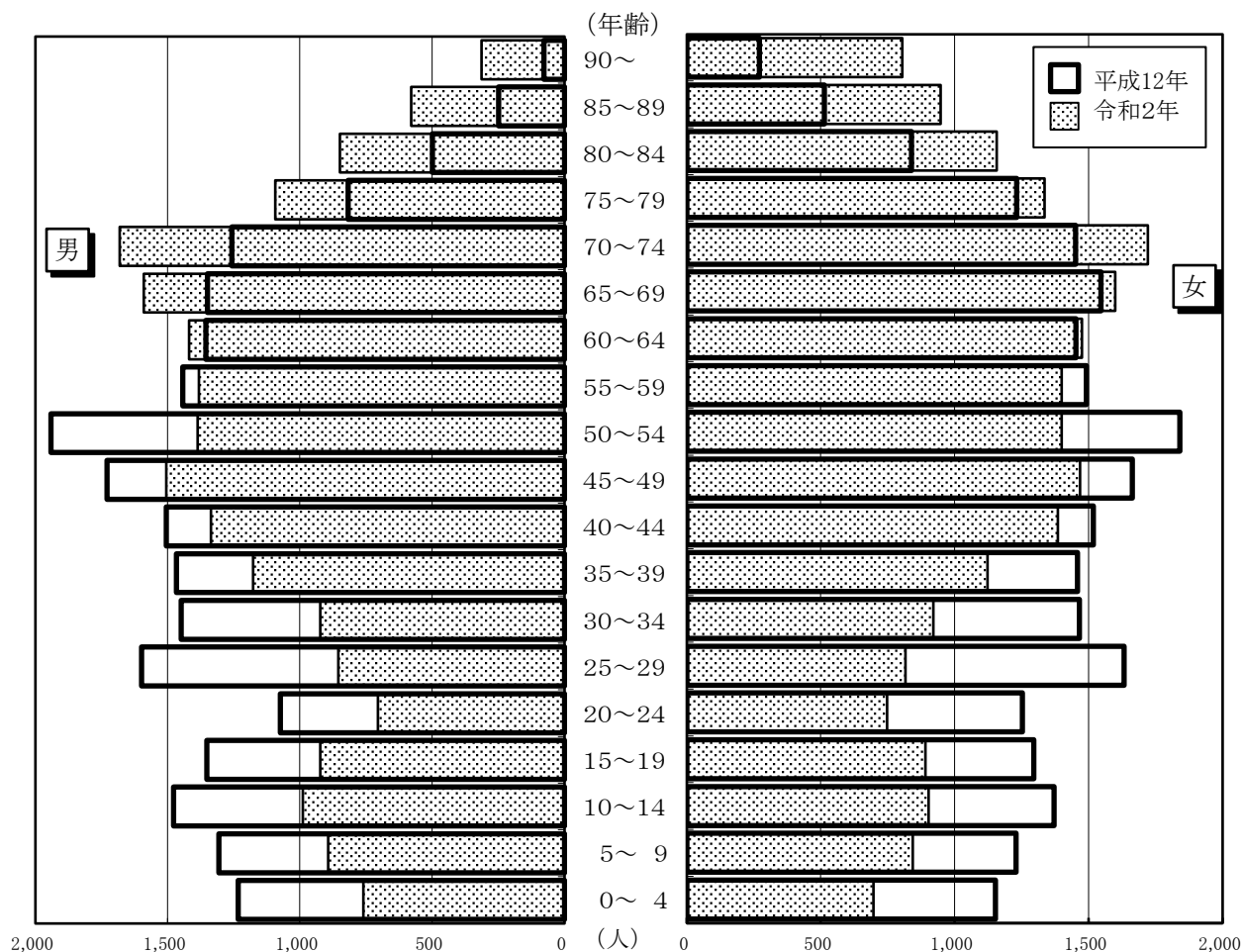


表1-3 年齢構成指数の推移 (単位: %)

	年少人口 指 数	老年人口 指 数	従属人口 指 数	老 年 化 指 数
平成12年	25.9	33.7	59.6	130.0
平成17年	24.5	38.3	62.8	156.6
平成22年	23.6	42.7	66.3	181.4
平成27年	22.9	51.3	74.3	223.7
令和2年	21.9	58.8	80.7	268.8

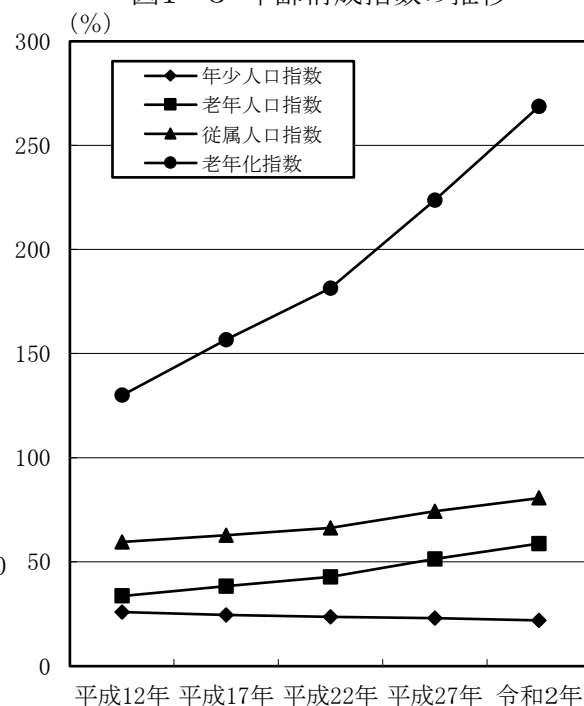
年少人口指数=年少人口/生産年齢人口×100

老年人口指数=老年人口/生産年齢人口×100

従属人口指数=(年少人口+老年人口)/生産年齢人口×100

老年化指数=老年人口/年少人口×100

図1-3 年齢構成指数の推移



C0102 DID

令和2年のDID地区(人口集中地区)の面積は313haで人口は11,829人、人口密度は37.8人/haとなっており、面積の推移は平成22年から平成27年にかけて一時減少したが、大きな変動は見られない。人口においては平成12年までは増加していたが以降減少し、人口密度は減少傾向にある。

DID地区(人口集中地区)の範囲をみると、東吉田、吉田、下小田中、東山など、非線引き用途地域でDID地区(人口集中地区)に含まれているエリアが見られる。一方、栗和田周辺は非線引き用途地域ではあるものの、DID地区(人口集中地区)から外れている状況となっている。

令和2年の非線引き用途地域に対する面積・人口の比率は92.1%、103.8%となっている。DID地区(人口集中地区)人口が非線引き用途地域人口を上回っている。

表1－4 DID(人口集中地区)の推移 (平成2年から令和2年の国勢調査 DID 地区境界データをもとに作成)

年度	DID地区面積	DID地区人口	人口密度	非線引き用途地域面積	非線引き用途地域人口
	ha	人	人/ha	ha	人
平成2年	290	12,574	43.4	339	12,991
平成7年	300	12,949	43.2	340	13,098
平成12年	307	12,985	42.3	340	12,934
平成17年	313	12,915	41.3	340	12,843
平成22年	313	12,698	40.6	340	12,340
平成27年	309	12,343	39.9	340	11,912
令和2年	313	11,829	37.8	340	11,397

※人口集中地区当初設定：昭和35年

C0103 将来人口

平成27年と令和2年の5歳階級別年齢人口を基に行った、(日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)(国立社会保障・人口問題研究所))による10年後、20年後の推計結果は、令和12年で38,452人、令和22年で34,149人と推計され、各年とも人口が減少するという結果になった。

図1-4 年齢別人口の将来推計

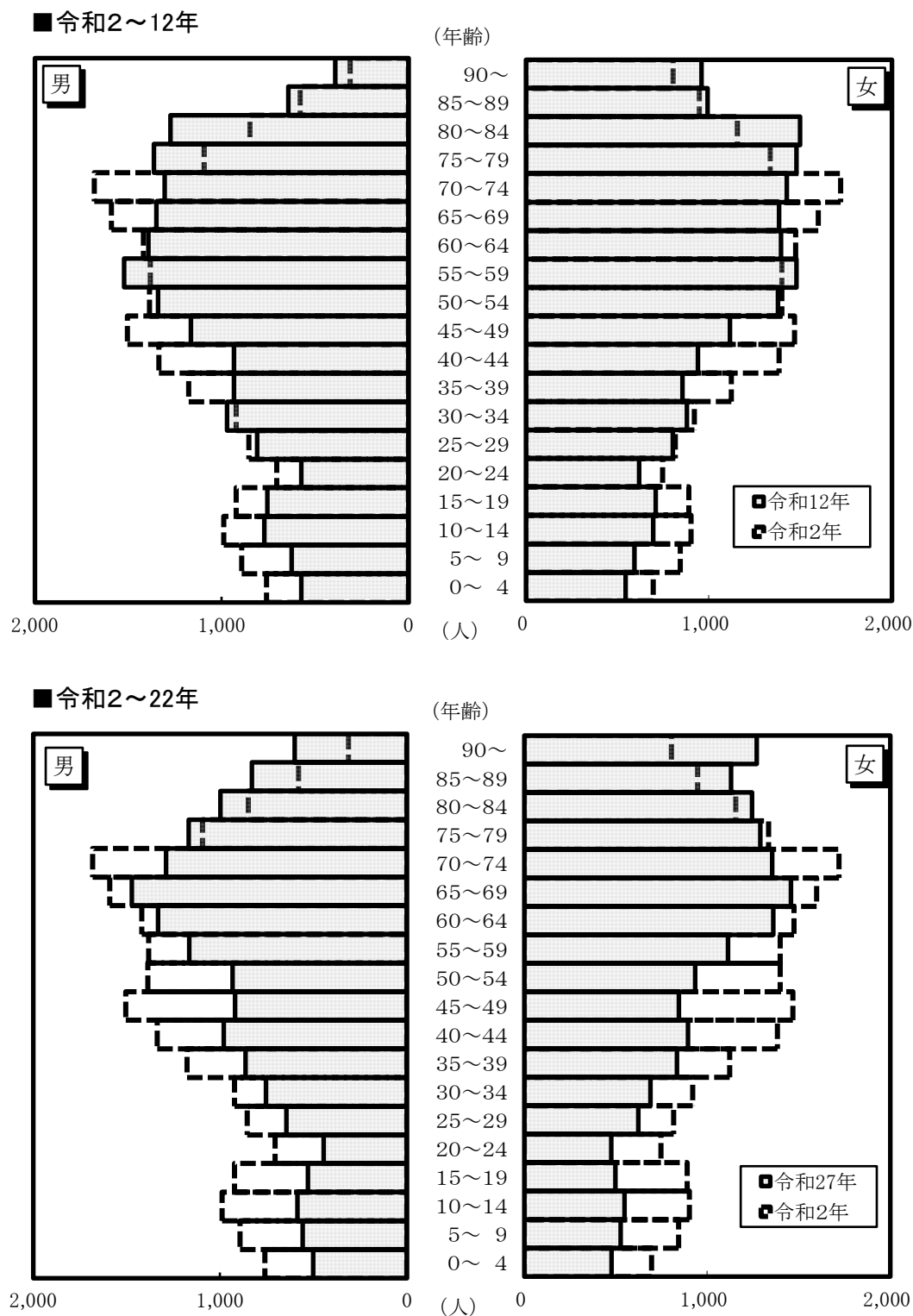


表1－5 年齢・性別将来人口 (日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)(国立社会保障・人口問題研究所))

年 階層	実績（基準年）			推 計 値																	
	令和2年（2020年）			令和7年（2025年）			令和12年（2030年）			令和17年（2035年）			令和22年（2040年）			令和27年（2045年）			令和32年（2050年）		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
0～4	1,457	760	697	1,200	615	585	1,120	574	546	1,065	546	519	979	502	477	864	443	421	740	379	361
5～9	1,737	893	844	1,475	771	704	1,218	625	593	1,139	585	554	1,085	557	528	997	512	485	880	452	428
10～14	1,892	989	903	1,728	893	835	1,469	772	697	1,214	627	587	1,135	586	549	1,082	559	523	995	514	481
15～19	1,814	923	891	1,605	837	768	1,465	755	710	1,246	653	593	1,029	530	499	962	495	467	916	472	444
20～24	1,453	705	748	1,366	640	726	1,193	574	619	1,083	514	569	922	446	476	761	361	400	712	338	374
25～29	1,672	855	817	1,788	925	863	1,614	810	804	1,403	723	680	1,269	645	624	1,082	561	521	894	455	439
30～34	1,844	923	921	1,764	919	845	1,852	971	881	1,669	847	822	1,445	754	691	1,304	671	633	1,114	585	529
35～39	2,300	1,177	1,123	1,896	951	945	1,790	934	856	1,888	992	896	1,698	863	835	1,468	768	700	1,323	682	641
40～44	2,721	1,336	1,385	2,296	1,168	1,128	1,875	934	941	1,773	920	853	1,876	980	896	1,687	852	835	1,456	757	699
45～49	2,973	1,505	1,468	2,717	1,342	1,375	2,280	1,164	1,116	1,865	933	932	1,766	920	846	1,872	982	890	1,683	854	829
50～54	2,785	1,386	1,399	3,005	1,520	1,485	2,719	1,341	1,378	2,281	1,162	1,119	1,867	932	935	1,771	921	850	1,880	985	895
55～59	2,781	1,381	1,400	2,815	1,406	1,409	3,001	1,522	1,479	2,716	1,343	1,373	2,278	1,164	1,114	1,867	935	932	1,773	925	848
60～64	2,893	1,418	1,475	2,780	1,387	1,393	2,787	1,392	1,395	2,973	1,508	1,465	2,694	1,332	1,362	2,260	1,155	1,105	1,854	929	925
65～69	3,189	1,590	1,599	2,858	1,387	1,471	2,733	1,349	1,384	2,746	1,358	1,388	2,930	1,472	1,458	2,657	1,301	1,356	2,230	1,130	1,100
70～74	3,402	1,681	1,721	3,061	1,506	1,555	2,732	1,305	1,427	2,623	1,275	1,348	2,643	1,288	1,355	2,824	1,399	1,425	2,564	1,238	1,326
75～79	2,429	1,093	1,336	3,189	1,538	1,651	2,842	1,363	1,479	2,549	1,188	1,361	2,458	1,168	1,290	2,488	1,187	1,301	2,661	1,291	1,370
80～84	2,005	848	1,157	2,118	907	1,211	2,773	1,274	1,499	2,481	1,134	1,347	2,243	998	1,245	2,179	990	1,189	2,216	1,012	1,204
85～89	1,527	579	948	1,544	596	948	1,637	643	994	2,177	926	1,251	1,961	830	1,131	1,802	743	1,059	1,767	747	1,020
90～	1,118	313	805	1,282	382	900	1,352	392	960	1,460	428	1,032	1,871	600	1,271	1,926	612	1,314	1,848	571	1,277
不 詳	346	197	149																		
総 計	42,338	20,552	21,786	40,487	19,690	20,797	38,452	18,694	19,758	36,351	17,662	18,689	34,149	16,567	17,582	31,853	15,447	16,406	29,506	14,316	15,190

C0104 人口増減

人口増減の推移をみると、自然増減は平成17年以降出生数が死亡者数を下回り自然減に転じている。また、概ね300～400人台で推移していた出生数が、令和2年は200人台で平成27年から令和2年までの自然増減は、年間で281人の減少となっている。また、社会増減は転出者数が転入者数を上回る状態が続いており、平成22年は90人、平成27年は123人、令和2年は65人の転出超過となっている。

表1－6 人口増減

(中野市調査(基準日:令和5年3月31日現在))

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
	人	人	人	人	人
自 然 増 減	82	△ 34	△ 123	△ 211	△ 281
出 生 数	439	365	369	341	262
死 亡 者 数	357	399	492	552	543
社 会 増 減			△ 90	△ 123	△ 65
転 入 者 数	1,290	1,169	1,148	1,079	1,106
転 出 者 数			1,238	1,202	1,171
(その他増減)			29	26	－
人 口 増 減 計			△ 184	△ 308	△ 346

資料:人口動態調査(出生数、死亡者数)、住民基本台帳人口移動報告(転入者数、転出者数)

C0105 通勤・通学移動(就業者)

令和2年の就業者の流出・流入別人口についてみると、流出人口は7,310人、率で31.4%、流入人口は7,531人、率で31.9%であり、流入人口が流出人口を221人上回っている。

令和2年の流出先をみると、流出率の第1位は長野市で13.0%(3,030人)、第2位は須坂市で5.1%(1,181人)である。流入先についても長野市が第1位で、流入率10.0%(2,365人)で、第2位と第3位は山ノ内町及び飯山市である。

表1-7 流出・流入別人口の推移(就業者)

年		常住地による就業者数	流 出		従業地による就業者数	流 入		従／常 就業者比
			就 業 者 数	流出率		就 業 者 数	流入率	
		人	人	%	人	人	%	%
旧中野市	平成12年	24,906	6,411	25.7	25,059	6,564	26.2	100.6
旧豊田村	平成12年	2,921	1,259	43.1	2,126	464	21.8	72.8
平成17年		26,687	7,259	27.2	26,479	7,051	26.6	99.2
平成22年		25,256	7,464	29.6	25,016	7,059	28.2	99.0
平成27年		24,618	7,489	30.4	24,291	7,136	29.4	98.7
令和2年		23,301	7,310	31.4	23,626	7,531	31.9	101.4

年		流 出 先											
		第1位			第2位			第3位			第4位		
		市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
			人	%		人	%		人	%		人	%
旧中野市	平成12年	長野市	2,612	10.5	須坂市	1,016	4.1	飯山市	819	3.3	山ノ内町	811	3.3
旧豊田村	平成12年	長野市	513	17.6	中野市	394	13.5	飯山市	117	4.0	須坂市	66	2.3
平成17年		長野市	3,311	12.4	須坂市	1,135	4.3	飯山市	946	3.5	山ノ内町	812	3.0
平成22年		長野市	3,368	13.3	須坂市	1,220	4.8	飯山市	927	3.7	山ノ内町	770	3.0
平成27年		長野市	3,368	13.7	須坂市	1,175	4.8	飯山市	1,049	4.3	山ノ内町	736	3.0
令和2年		長野市	3,030	13.0	須坂市	1,181	5.1	飯山市	1,082	4.6	山ノ内町	713	3.1

年		流 入 先											
		第1位			第2位			第3位			第4位		
		市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
			人	%		人	%		人	%		人	%
旧中野市	平成12年	山ノ内町	1,350	5.4	長野市	1,320	5.3	須坂市	925	3.7	飯山市	904	3.6
旧豊田村	平成12年	中野市	127	6.0	飯山市	118	5.6	須坂市	85	4.0	山ノ内町	28	1.3
平成17年		長野市	1,973	7.5	山ノ内町	1,355	5.1	飯山市	1,085	4.1	須坂市	968	3.7
平成22年		長野市	1,929	7.7	山ノ内町	1,310	5.2	飯山市	1,131	4.5	須坂市	959	3.8
平成27年		長野市	2,065	8.5	山ノ内町	1,297	5.3	飯山市	1,081	4.5	須坂市	981	4.0
令和2年		長野市	2,365	10.0	山ノ内町	1,181	5.0	飯山市	1,144	4.8	須坂市	1,069	4.5

(平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成)

注1 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者をいう。

従業地による就業者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者をいう。

注2 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100

流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100

注3 (従／常)就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

C0105 通勤・通学移動(通学者)

令和2年の通学者の流出・流入別人口についてみると、流出人口は927人、率で54.8%、流入人口は577人、率で41.9%であり、流出人口が流入人口を350人上回っている。

令和2年の流出先をみると、流出率の第1位は長野市で25.5%(431人)、第2位は須坂市で10.1%(171人)である。流入先は須坂市が第1位で、流入率13.9%(192人)で、第2位と第3位は山ノ内町及び小布施町である。

表1-8 流出・流入別人口の推移(通学者)

年		常住地による就業者数	流 出		従業地による就業者数	流 入		従／常 就業者比
			就 業 者 数	流出率		就 業 者 数	流入率	
		人	人	%	人	人	%	%
旧中野市	平成 12 年	2,039	811	39.8	2,382	1,154	48.4	116.8
旧豊田村	平成 12 年	286	247	86.4	39	0	0.0	13.6
平成 17 年		2,113	944	44.7	2,076	907	43.7	98.2
平成 22 年		2,008	1,021	50.8	1,794	782	43.6	89.3
平成 27 年		1,965	938	47.7	1,678	649	38.7	85.4
令和 2 年		1,691	927	54.8	1,378	577	41.9	81.5

流 出 先																
年		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
		市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
			人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
旧中野市	平成 12年	長野市	371	18.2	須坂市	296	14.5	飯山市	87	4.3	豊野町	10	0.5	更埴市	9	0.4
旧豊田村	平成 12年	長野市	121	42.3	飯山市	73	25.5	中野市	34	11.9	須坂市	6	2.1	木島平村	6	2.1
平 成 17 年		長野市	484	22.9	須坂市	260	12.3	飯山市	132	6.2	上田市	13	0.6	松本市	8	0.4
平 成 22 年		長野市	520	25.9	須坂市	240	12.0	飯山市	147	7.3	上田市	21	1.0	木島平村	18	0.9
平 成 27 年		長野市	490	24.9	須坂市	177	9.0	飯山市	127	6.5	松本市	17	0.9	木島平村	15	0.8
令 和 2 年		長野市	431	25.5	須坂市	171	10.1	飯山市	123	7.3	松本市	24	1.4	木島平村	18	1.1

流入先																
年		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
		市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
			人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
旧中野市	平成 12年	山ノ内町	345	14.5	須坂市	293	12.3	長野市	122	5.1	小布施町	106	4.5	飯山市	83	3.5
旧豊田村	平成 12年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 17 年		須坂市	256	12.3	山ノ内町	233	11.2	長野市	136	6.6	小布施町	98	4.7	飯山市	59	2.8
平成 22 年		須坂市	231	12.9	小布施町	109	6.1	山ノ内町	90	5.0	長野市	90	5.0	飯山市	48	2.7
平成 27 年		須坂市	231	13.8	山ノ内町	151	9.0	小布施町	97	5.8	長野市	85	5.1	高山村	40	2.4
令和 2 年		須坂市	192	13.9	山ノ内町	126	9.1	小布施町	89	6.5	長野市	67	4.9	飯山市	36	2.6

(平成 12,17,22,27 年、令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成)

注1 常住地による通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)通学者数をいう。

従業地による通学者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)通学者数をいう。

注2 流出率＝流出通学者数／常住地による通学者数×100

流入率＝流入通学者数／従業地による通学者数×100

注3 (従／常)就業者比率＝従業地による通学者数／常住地による通学者数×100

図1-5 平成27年流出入状況図(就業者)

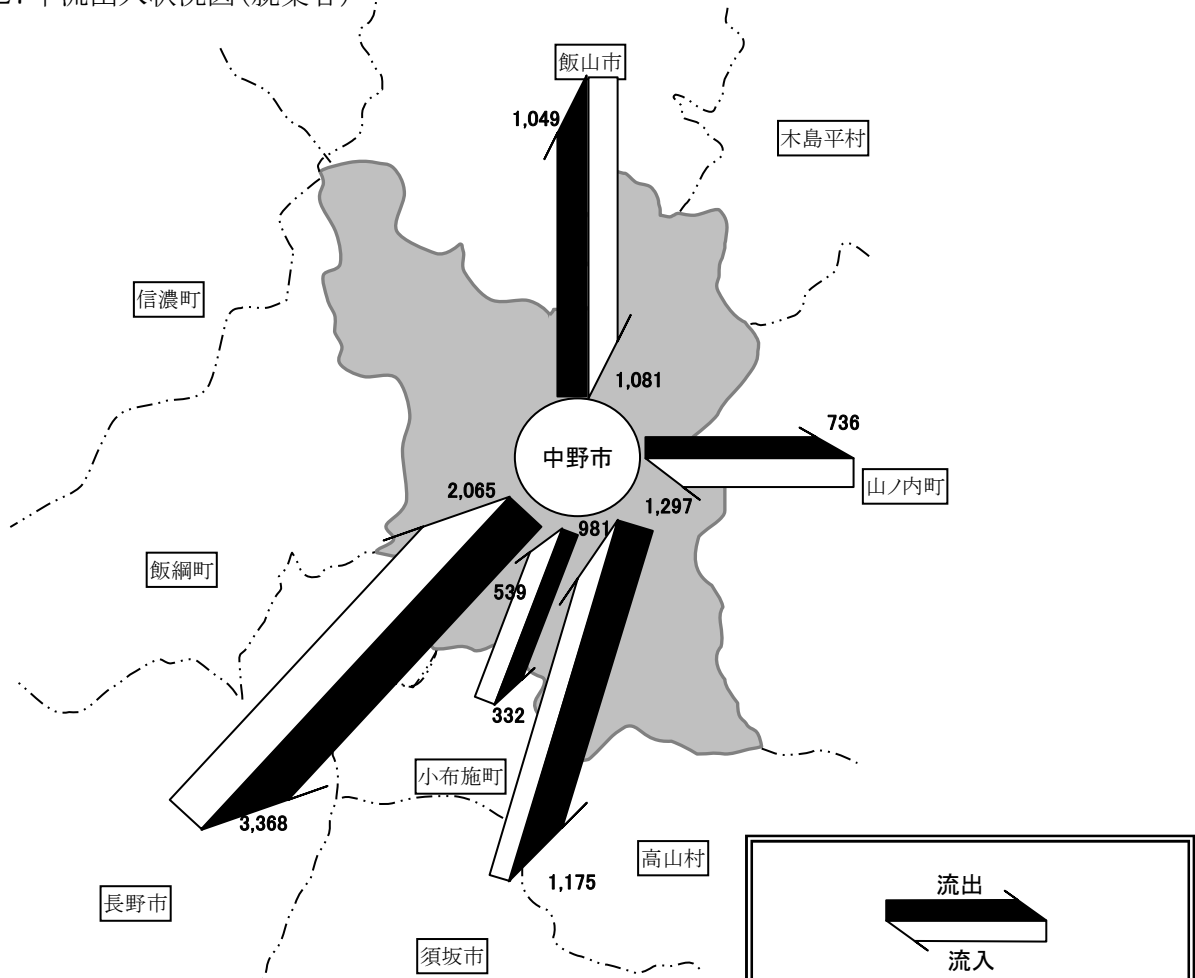


図1-6 令和2年流出入状況図(就業者)

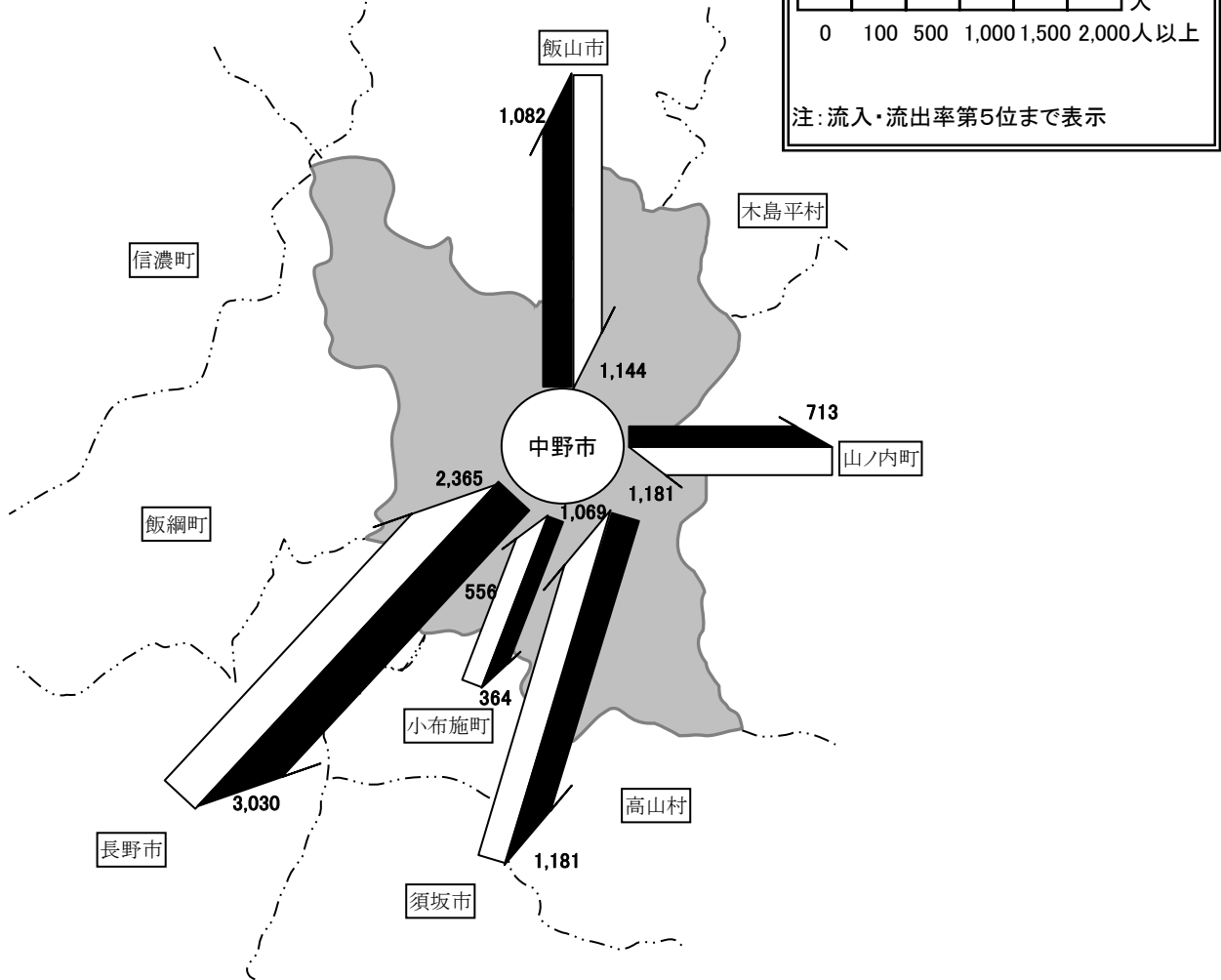


図1-7 平成27年流出入状況図(通学者)

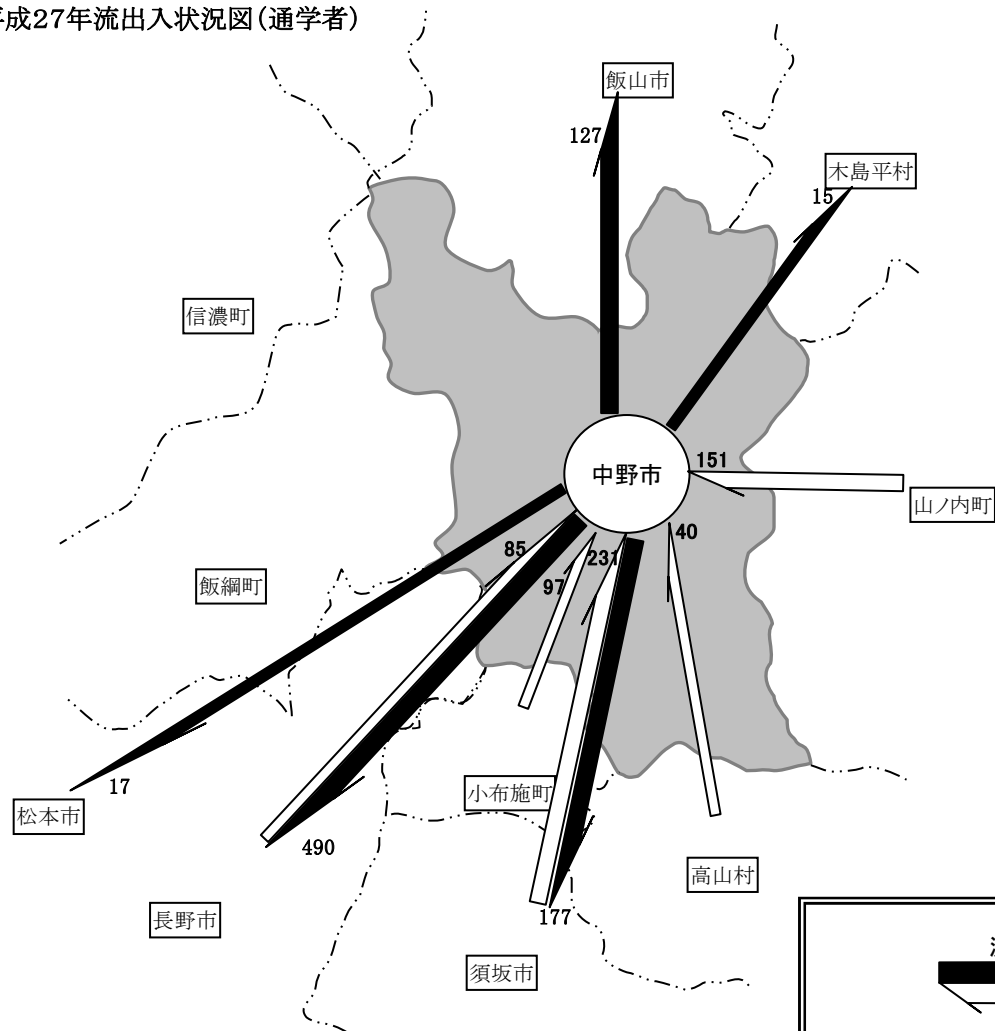


図1-8 令和2年流出入状況図(通学者)

